

社会福祉法人 富士宮福祉会 事業所別 事業計画

(平成27年度)

番号	事業所名	添付資料
1	特別養護老人ホーム 星の郷	事業計画 (総合計画、処遇計画、年間行事等計画、会議・訓練・研修等計画、会議・委員会構成図、内部研修・勉強会開催計画、給食、防災)
2	デイサービスセンター 星の郷	事業計画 (年間行事計画)
3	居宅介護支援事業所 星の郷	事業計画
4	星の郷 ホームヘルプサービス事業所	事業計画
5	在宅介護支援センター (地域型支援センター)	事業計画
6	生活支援ハウス 星の郷	事業計画
7	デイサービスセンター いちばん星	事業計画 (年間行事計画)

平成27年度 総合計画 特別養護老人ホーム 星の郷

○ 施設運営

- ① その方に合ったサービスが提供できるよう、認知症ケアのアセスメントツール(センター方式)等を利用し、入所者・家族の思いに気づき、思いに添ったケアができるよう他職種連携したケアを目指す。
- ② 利用者の方々が安心・安全に生活できるよう、感染症の発症、及び事故発生予防に努める。
- ③ 医療と連携を密にし、ターミナルケアの充実を図る。
- ④ 家族・地域並びに関連機関への広報活動及び情報開示として、当法人情報開示(内規)に定められた書類等の開示をホームページや広報誌を利用し行う。
- ⑤ 施設として、介護保険法令及びその他の法令に対しても法令遵守が確実に行われている事を確認し、法令遵守の周知徹底を図る。
- ⑥ 職員1人ひとりのスキルアップを目指し、勉強会・研修会等を計画し、サービスの質の向上を目指す。
- ⑦ 地域福祉活動に努める。

○ 生活支援

- ① 入所者の状態に合わせた介護・入所者が求める介護の提供ができるよう、研修・勉強会等に参加し知識・技術の向上を図る。
- ② 職員による会議・委員会により処遇の問題点に気づき、いち早く改善に努める。
- ③ 家族会の開催、カンファレンス・連絡・相談等を随時行う事で、入所者・家族・職員の交流を行い、意見・要望等が把握し、その方にあったケアプランの作成を行い、実行に移す。又、その方らしい生活を送れるよう多職種連携していく。
- ④ 入所者の要求を把握し、様々なレクリエーションや行事等を企画し実行する。又、家族と入所者のふれあいの機会がもてるようにする。
- ⑤ 日々の生活に満足して頂けるよう、入所者のアセスメントを行い、要望等にお答えできるよう努力する。

○ 安心、安全、快適な生活環境

- ① 安全管理指針に基づいて、安心・安全・快適な生活環境を整えられるよう、リスクマネジメントの強化を図る。
- ② 入所者が心豊かに生活できるよう施設内外の環境整備に努める。
- ③ 災害からの生命の安全と財産の保全を確保するために、施設の安全点検及び防災訓練を積極的に実施し、予想される東海地震の対策に万全を図る。
- ④ ユニットケアのできる構造をいかし、フロア毎の個性を入所者と共に作り上げ、安心安全に生活できる環境作りをしていく。
- ⑤ 感染症に対する知識・対応技術を習得し、感染症対策並びに感染予防対策を周知徹底する。
- ⑥ その方の行動パターンの把握や個々にあった対応・環境等を整備し、事故の軽減に努める。

○ 身体拘束の取組み

身体拘束について、全職員が共通の認識を持ち、身体拘束がない状態を維持する。また、身体拘束について施設内での研修を開催する。

○ 地域交流とボランティア受け入れ

- ① 地域に開かれた施設を目指し、地域福祉活動を積極的に行う。地域福祉活動を通して、地域とのつながりを維持し、施設行事へ参加して頂いたり、地域行事に参加していく。
- ② 各種ボランティア団体、幼児・学生及び地域住民等のボランティアの受け入れや地域交流の場への積極的な参加をしていく事で、入所者のコミュニケーションの場を拡大し、日常生活の活性化を図る。

平成27年 処遇計画

特別養護老人ホーム星の郷 <ショートステイ星の郷>

○ 介護部門

【全体目標】

利用者本人がその人らしく自立した生活が送れるよう、多職種との連携を図り、よりよいサービスの提供ができるように努める。

また、サービスの質を上げて行く為にも、個々の職員のスキルアップの為、研修会・勉強会への参加や資格取得を目指し、介護の知識や技術の向上に繋げる努力をする。

【具体的な処遇計画】

日常生活動作(食事・排泄・入浴・更衣・整容・移動)について

個々の利用者の状態をアセスメントし、その方にあった方法で介助できるように努める。また、定期的なモニタリングと半年毎のカンファレンスを行いケアの見直しを行っていく事で、その時の状態に合わせた介護ができ、事故予防に努めることができる。

カンファレンスには、家族の参加を呼びかけ、参加して頂くことで、家族の思いや意向をプランに反映していく。

ケアプランをもとに介護計画書を作成し、統一したケアが出来る様にする。

日々の変化に気づく為にも、こまめに記録を残していく。また、他職種と情報共有していくことで、異常の早期発見・対応につなげていく。

認知症ケアについて

認知症になっても、いつまでも自分らしく安心して過ごして(暮らして)頂けるように、認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式等のシートを活用し、本人本位のケアができるよう、利用者・家族と共によりよい暮らしを目指す。

また、介護保険の法改正もあり、今後中重度の障害・認知症の受け入れが多く求められてくる。個々のスキルをあげ、基本的な介護技術だけでなく、色々な種類の認知症の方に対応できるよう努める。

生活環境について

フロア毎に生活しやすい環境(物の配置・清潔等)を作っていく。また、生活の質の向上を目指し、利用者には楽しい日々を過ごして頂けるよう、行事やレクリエーション等の計画を立て、生活の満足につなげていけるように努める。

感染症について

職員が感染の媒体にならないよう、自己管理を徹底していく。

感染症対策・予防対策を行う。また、知識や対応方法の習得に努める。

利用者の生活リズム、清潔、整頓、安全、衛生を考え、室内の温度や湿度、換気に配慮し良好な環境を整備する。

看取りケアについて

その方らしい最後をむかえられるよう、また、看取りケアの質向上の為にも、ケア実践に必要な外部研修に参加したり、施設内でも研修計画をたて、他職種連携しながら対応力の強化・専門性をみにつけていく。

利用者・家族の願いや思いをくみ取り、命ある限り死の直前まで人として尊厳ある生を全うできるように、また、安らかな最期を迎えられるよう支援していく。その為にも、カンファレンス・話し合いを行い、他職種連携し、日常的なケアの充実、精神的・身体的支援へとつなげていく。

ケア連携について

特別養護老人ホームにおける介護・看護職員等の多職種連携を行う。

機能訓練について

その方らしい生活を維持して行くためにも、心身の状態が維持できるよう、機能訓練士による機能訓練の実施や他職種と連携して機能訓練・レクリエーション・趣味活動等を行っていく。

身体拘束について

施設内では、身体拘束0に努める。

拘束せずに日常生活を送ってもらうことができるよう、身体拘束をする事によっておこる弊害を理解し、個々の状態把握を細かく行うことで、身体拘束に結びつきそうな原因を見つけ、対処していく。

○ 看護部門

【目標】

健康状態の維持、一般状態の観察、合併症・褥瘡等の予防、服薬・投薬の管理、異常の早期発見、および主治医や病院への連絡体制を確立しスムーズな受診に繋げる。そこで、利用者の病状等に応じた対応が図れるよう、医療設備等補充を検討する。また、感染症の発症を防ぐ努力として、感染経路に応じた適切な対応を図る。

【健康診断等】

1) 健康診断

実施回数 : 年1回
対象者 : 入所者全員・職員全員

2) 腰痛検診

実施回数 : 年2回(6か月以内毎に1回)
対象者 : 介護・看護職員全員

3) インフルエンザ予防接種

実施回数 : 年1回
対象者 : 入所者全員・職員全員

【嘱託医等往診】

- 1) 内科医 : 毎週1回
- 2) 歯科医 : 毎週1回
- 3) 精神科医 : 毎月1回
- 4) 皮膚科医 : 毎月2回

【日々の健康診断】

- 1) 検温 : 要観察者は 6時・10時30分・15時30分・20時 に測定
入浴者は 9時・13時 に測定
- 2) 体重測定 : 毎月1回
- 3) 血圧検査 : 要観察者は 6時・10時30分・15時30分・20時 に測定
入浴者は 9時・13時 に測定

【具体的な計画】

1) 生活援助について

生活状態を把握しADLの維持ができるよう、自立支援に努め、安全・安楽で尊厳ある生活支援を行う。

異常の早期発見ができるよう、個々の現状の把握に努める。

2) 生活環境の整備について

明るく、清潔な環境(室温、湿度、換気、清掃)に気を配り、転倒予防に努める。

感染症の集団発生を防ぐ為、施設内の設備整備を積極的に行い、感染対策並びに予防対策を職員に周知徹底させる。

3) 他職種とのケア連携を図る

入所者の可能性を最大限に引き出し、生きる喜びをもたらすような対応、精神的な衰退に対するケアを積極的に行う。又、出来る限り入所者が入院する事がないよう、事故防止や感染症予防を多職種連携した健康管理を行う。

医学知識向上のため、文献整備及び研修会への参加に努め、他職種への勉強会(疾患及びそれに関する対応の仕方について)を開催していく。

特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の連携・協働による医療的なケアの在り方として、たん吸引等の取り扱いについての研修会(フォローアップ研修等)を行う。

看取り期におけるケアの判断と対応については指導的役割を担っており、看取りケアの質の向上の為に、研修会等へ参加し知識・技術の向上に努める。また、看護職員を中心に他職種と連携・協働し、「死生観」の育成や勉強会を開催していく。

4) 家族との対応について

ADL低下に伴う身体異常の早期対応、家族への報告を行い、家族の意向に沿った看護を行う。

平成27年度 年間行事等計画

開催月	行事名	クラブ活動	レクリエーション	備考
4月	お花見(園遊会) (4月5日)	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
5月	端午の節句 (青空お食事会)	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
6月	運動会	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
7月	七夕	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
8月	花火大会(8月7日)	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
9月	敬老会 秋祭り } (9月13日)	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
10月		お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
11月	紅葉狩り	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
12月	忘年会(12月4日) クリスマス会(12月25日)	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
1月	新年会	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
2月	豆まき	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
3月	ひな祭り	お料理クラブ 俳句の会(月2回) 書道クラブ	おやつレク 外出レク 体操・歌等	
<p>その他の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの受け入れ(各フロア毎に行事やレクで随時受け入れ) ・ 家族交流会(各フロア毎に実施)の開催(年2回) ・ クラブ活動の充実 : 書道・手芸・お料理・俳句 等 (随時実施) ・ 各フロア毎に行事やレクリエーション等の写真の掲載を行う。 又、フロアの雰囲気作りとして、季節に合わせ壁の飾り付けを行う。 ・ 外出レク(女子会の定期開催): 行きたいところ(見る・食べる等)を聞き、グループで外出。 ・ お掃除ボランティア(毎月1回) 				
※	お花見・花火大会・敬老会・秋祭りは実行委員会が企画運営する。その他の行事は、行事担当が担当する。			

会議・訓練・研修等計画

	会 議	訓 練	外 部 研 修 計 画
4月	<ul style="list-style-type: none"> 全体集会(第3火) 事業所会議、給食会議、防災会議(第3火) 委員長連絡会(隔月第3月) 	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 中堅職員研修Ⅱ 接遇研修 接遇マナー講座(基礎編)
5月	<ul style="list-style-type: none"> リーダー会議(第1木・第3木) ケア連携(第3木)・フロア会議 事故対策委員会(随時) リスク委員会(第1水) 	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 新任職員研修Ⅰ(中部1・2) 認知症の人のためのレクリエーション コミュニケーション技法講座(基礎編) コンプライアンス講座
6月	<ul style="list-style-type: none"> ケア委員会(第2水) 感染症委員会(第1金) 防災委員会(第2火) チューター会議(隔月) 相談員連絡会(1回/3ヵ月) 在宅連絡会(1回/3ヵ月) 	花火大会 打ち合わせ 防火訓練 避難誘導訓練	<ul style="list-style-type: none"> 介護・看護リーダーのための指導力養成講座(初級編) 新任職員研修(中部3) 感染症講座(初級編) タッピングタッチ基礎講座 認知症高齢者支援講座 認知症介護実践者研修 介護記録の書き方講座 介護力向上講座 福祉職のための文章力向上講座 介護技術講座(基礎編) 介護技術講座(応用編)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 花火大会 打ち合わせ 敬老会・秋祭り 打ち合わせ 	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 介護記録の書き方講座 権利擁護・成年後見セミナー(基礎編) 介護職が知っておきたい高齢者の皮膚ケア講座 介護・看護リーダーのための指導力養成講座(初級編) 新任職員研修(東部) 接遇・マナー講座(指導者養成編) 中堅職員研修Ⅰ(東部)
8月	<ul style="list-style-type: none"> 花火大会 打ち合わせ 敬老会・秋祭り 打ち合わせ 	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 職場研修のつくり方講座 介護・看護リーダーのための指導力養成講座(初級編) 認知症のBPSDを考えるセミナー 権利擁護・成年後見セミナー(応用編) 介護職のための薬の基礎知識
9月	<ul style="list-style-type: none"> 敬老会・秋祭り 打ち合わせ 	避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> ターミナルケア入門講座 相談員の為の支援力アップ講座(中級編) 新任職員研修Ⅱ-1 生活の場面から見る利用者の身体観察のポイント リスクマネジメント講座 コミュニケーション技法講座(応用編) 介護・看護リーダーのための指導力養成講座(初級編)
10月		避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 新任職員研修Ⅰ(中部4) 排泄ケア講座 感染症講座(中級編) フットケア講座 福祉職場のストレスマネジメント講座 介護予防のためのレクリエーション 口腔ケア講座
11月		防災訓練 避難誘導訓練	<ul style="list-style-type: none"> 福祉職場の組織性向上講座 新任職員研修Ⅰ(中部5) 精神疾患の理解 福祉職場の「困った」事例に学ぶ！リーダーの役割と人材育成の心得
12月		避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 急変を見逃さないための救急講座 施設における高齢者虐待予防のためのワークショップ*
1月		避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 新任研修Ⅱ-2
2月		避難誘導訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 中堅職員研修Ⅲ
3月	<ul style="list-style-type: none"> 花見(園遊会) 打ち合わせ 	避難誘導訓練 消火訓練	
年間		通報訓練(年3回)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設の多職種連携講座(新規) 快適なシーティング入門セミナー 高齢者の転倒予防講座 看護師研修 対人援助職のための「福祉実践力」基礎講座 共感を得る「ことば」講座

内部研修等計画

	法人		委員会
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
年間			



会議・委員会構成図

事業所会議(給食・防災・安全衛生・等)(最終週火)			
施設長、主治医、副施設長、事業部部長、在宅部長、事業部次長、事務長、 事業部・施設課長、看護課長			
特養介主任、特養介副主任、特養相談員・ケアマネ、管理栄養士、ショート、デイ、ヘルパー、 在介、居宅、いちばん星デイ			

感染症対策会議・身体拘束会議・事故対策委員会			
施設長、副施設長、事業部部長、事業部次長、事務長、施設課長、看護課長、特養介主任、 特養副主任、特相・ケアマネ、管理栄養士・各ユニットリーダー(AB・CD・EF・GH)、デイ			
※ 事故対策委員会は、安全管理指針による。			

ケア連携 <small>(第3or最終水曜日)</small> (※たん吸引等含む)	
施設長・主治医・施設課長・看護課長・ 特養主任・副主任・相談員・ケアマネ・ 管理栄養士	

広報	看護師 連絡会	相談員 連絡会 (1回/ 2日)	在宅 連絡 会(1 回/3カ 月)	リーダー会議等(第1木・第3木)					委員長連絡会(第3月)				
				NS・CW各主任・CW副主任・各リーダー・相談員					ケア(食事)	リスク	感染症	防災	
4月	毎月 第3木	6月24日	4月						長				
7月		9月30日	7月						サブ				
10月		12月16日	11月										
1月		2月24日	1月	AB	CD	EF	GH	デイ					
				A B 所属職員	C D ・ シ ョ ー ト 所 属 職 員	E F 所 属 職 員	G H 所 属 職 員	デ イ 所 属 職 員	ケア 第2水曜日	リスク※1 第1水曜日	感染症 第2金曜日	防災 第2火曜日	
									AB				
									CD				
									EF				
									GH				
									NS				
									デイ				

※1 リスク委員会には、身体拘束も含まれる。

【会議・委員会等の取組み内容】

会議・委員会名	内 容	内部研修・勉強会等
フロア会議	業務の見直し・検討。利用者に対するケアの統一。	介護技術
ケアカンファレンス	ケアプランの評価・検討・見直し。(家族参加有)	
リーダー会議	各フロアからの報告・連絡・相談。今後の方向性の検討・見直し等。 各委員会と連携を強化し職員のスキルアップ(サービスマナー、介護技術の向上等)を図る。	
リーダー・サブ会議	リーダー・サブの連携を強化し、チーム力の向上を図る。	OJT研修・リーダー研修
チューター会議	新人職員と新人指導者の指導・育成。	
ケア連携	多職種間の業務連携。	
事業所会議	各事業所からの報告・相談等。各事業所間の情報共有。 事業運営の見直し・検討。各事業所の現状把握と今後の対応。 (安全衛生・感染症・身体拘束・事故等)	
給食会議	利用者の為の食事提供に関する、施設と委託業者との意見交換等。 食事検討会。給食運営全般の方針の決定。	
防災会議	地震・火災・風水害・その他の災害にに対処するため、防災訓練並びに災害時の対応についての検討。	
全体集会	辞令の交付。グループ討議。委員会・事業所からの取り組み(課題等)の報告。全体研修(勉強会)等。	人権擁護研修 虐待・身体拘束防止研修
在宅連絡会	法人内在宅サービスの横の連携を強くし、サービスの質の向上を目指す。 また、職員の意見交換等を行い、個々のスキルアップにつなげる。	
相談員連絡会	法人内相談員の連携を図り、サービスの質の向上を目指す。	相談援助研修
委員長連絡会	委員会同士の連絡・報告・連携調整。勉強会の共同開催。	
事故対策委員会	安全管理指針にしたがい、法人内の安全管理に関する事や重大事故が発生した場合に開催。	
ケア委員会	日常生活支援(食事・入浴・排泄・環境・生活等)のサービスの質を見直し、向上に努める。①その方にあった排泄介助(誘導・オムツ等)②安全な食事の提供(食事形態・姿勢・椅子・テーブルの高さの見直し含む)等。③安心して過ごせる生活空間(環境)。ケアプランに添った支援。マニュアルの見直し。 — 勉強会の開催(例) — 介護記録の書き方・活かし方。コミュニケーション技法。介護技術。 食事介助。オムツ勉強会。陰部洗浄勉強会。接遇マナー。ケアプラン。	オムツ勉強会(年3回) 陰部洗浄勉強会(年2回) 嚥下勉強会(年2回) 糖尿病勉強会(年2回) 接遇研修・ケアプラン勉強会 ポジショニング・コミュニケーション技法 食事介助研修
リスク・身体拘束委員会	事故原因の追究と利用者の状態把握(アセスメント)をすることで、再発防止に努める。 また、ヒヤリ・ハットを生かせるよう取り組んでいく。 身体拘束”0”に向け、随時対応を見直し、取り組みを行っていく。 マニュアルの見直し。 — 勉強会の開催(例) — 移乗・移動・身体拘束・認知症ケアの勉強会。介護技術。 センター方式勉強会。体位変換。ケアプラン。	資格試験勉強会 介護技術勉強会(年2回) 認知症勉強会(年2回) 事故予防勉強会 その他 リスクマネジメント部門 年間研修計画参照
感染症委員会	職員が媒体にならないように知識をひろめ、感染予防に努める。 マニュアルの見直し。環境整備(居室・フロア等の清掃含む)・定期点検。 — 勉強会の開催(例) — 嘔吐処理の勉強会。感染症予防基礎知識勉強会	嘔吐処理確認(年4回) 感染症基礎知識勉強会(年2回)
防災委員会	防災訓練等の計画・立案及び、防災意識向上を目的とした職員及び利用者に対する防災教育を実施する。	防火・防災訓練
その他	サービスの質の向上 実習・研修生の受け入れ(学校・施設等) 介護保険・老人福祉法 医療(疾患等の理解)・たん吸引等	交流研修・新人研修・介護技術 実習指導・接遇マナー 病気と障害の理解 年代別研修・ケアプラン研修 介護保険・社福の理解

平成27年度給食について事業計画
特別養護老人ホーム 星の郷
ショートステイ星の郷 ・ デイサービスセンター 星の郷 ・ いちばん星

【栄養・調理業務方針】

健康の保持と季節感や五感で楽しめるおいしい食事の提供を目指す。又、介護食と言われる食事についての知識・技術力習得に努める。

また、ショートステイ・デイサービス利用者の食事についても、同様に実施する。

なお、入所者については、「栄養ケアマネジメント」に基づく栄養管理の充実を図り、栄養ケア計画書の作成管理を進める。

1. 安全な食事の提供

- ① 食中毒を防ぎ、安心して食事が出来るよう努める。
 - ・ 調理の仕事は、入所者の尊い生命を預かっていることを自覚し、調理室の清潔を保つ。
 - ・ 食事介助等に携わる職員は、清潔な身支度を整え、衛生的な食品の扱いについて知識を深め、併せて自己の健康管理に努める。
 - ・ チェック表を活用し、衛生管理を徹底する。

2. 健康の維持と疾病の予防、治療

- ① 施設の栄養所要量に基づく献立により、健康の維持を図る。
- ② 嚥下障害などにより、食事摂取困難な利用者の食事に工夫を凝らし、バランスのとれた食事を提供する。
- ③ 機能低下に合わせた食形態の充実を図り、健康の維持と疾病の予防に努める。
- ④ 医師の指示による治療食、風邪などにより日常の食事が食べられない時に対応する応急食、栄養を補うための捕食等を充実し、疾病の悪化防止と回復に努める。
- ⑤ 治療食を必要とする人が偏った食嗜好を持つ場合は、栄養素について説明する機会を設けることにより、栄養に関心をもっていただき、健康維持に役立てていただく。

3. 生活に豊かさと満足感を味わえるような食事の提供

- ① 嗜好を把握する
 - ・ 嗜好・残菜状況等を把握し、献立に反映させることで喫食率の向上を図る。
 - ・ 定期的に希望献立・日常の食事についての意見を聴き、要望を取り入れるように心がける。
- ② 行事食の充実
 - ・ 食生活に変化を持たせるものとして、季節の行事食や給食レクリエーションを充実する。
 - ・ 四季折々の行事を盛り込んだ行事食を、メニュー内容とともに、メッセージカードを添えるなど視覚への演出も凝らし行う。
 - ・ 選択メニュー・デモクッキングなどを、可能な限り取り込んで日々の生活を充実させることに努める。
 - ・ 利用者の出身地にちなんだ郷土料理を提供することにより、食生活に変化をもたせるように努める。

4. 栄養ケアマネジメントの実施

- ① 食事中の巡回指導に努め、ケアプランの策定に生かしていく。
- ② 食事内容に変更があった場合は、速やかに情報提供を行い、ケアプランの見直しを図る。

5. 委託会社との連携を充実させる

- ① 非常時の対応や日常業務などについて意見交換を行い、業務の質向上に努める。
- ② 内部研修を推進し、安全で満足感の高い食事を提供できるよう努める。

平成27年度給食行事食 事業計画
 特別養護老人ホーム 星の郷
 ショートステイ 星の郷 ・ デイサービスセンター 星の郷

【目的】 利用者に暦行事・施設の行事と併せ、その行事に合った食事を提供することで、季節を感じていただき、楽しみにしていただける給食を目指す。

前 期			
月	日	暦行事・イベント名等	行事内容
4月	3日	ひな祭り	行事献立 カード
	8日	はなまつり	おやつ作り 昼食を弁当箱に詰めて提供
	未定	お楽しみおやつ会	
	未定	お花見会	
	未定	お料理クラブ	
5月	2日	八十八夜	茶飯 カード
	5日	こどもの日	行事献立 カード
	10日	母の日	お赤飯 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	遠足	昼食を弁当箱に詰めて提供
	未定	お料理クラブ	
6月	14日	父の日	お赤飯 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	運動会	あんぱん
	未定	お料理クラブ	
7月	7日	七夕	七夕そうめん カード
	24日	土用の丑	うなぎ カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
8月	未定	お料理クラブ	
	1日	土用の丑	うなぎ カード
	7日	七夕・花火大会	行事献立 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
9月	未定	お料理クラブ	
	21日	敬老の日	行事献立 カード
	23日	秋分の日	おはぎ カード
	27日	十五夜	行事献立 カード
	未定	敬老会・星の郷祭り	おやつ作り
未定	お楽しみおやつ会		
未定	お料理クラブ		

後 期			
月	日	暦行事・イベント名等	行事内容
10月	1日	創立記念日	行事献立
	12日	体育の日	行事献立 カード
	25日	十三夜	行事献立 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	お料理クラブ	
11月	15日	七五三	行事献立 カード
	23日	勤労感謝の日	お赤飯 カード
	未定	紅葉狩り	昼食を弁当箱に詰めて外出
	未定	お楽しみおやつ会	
	未定	お料理クラブ	おやつ作り
12月	4日	忘年会	握り寿司
	22日	冬至	南瓜料理 カード
	25日	クリスマス会	行事献立 カード
	31日	大晦日	年越しそば 天ぷら
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
1月	未定	お料理クラブ	
	1日	お正月	おせち料理 祝箸 カード
	7日	七草	七草粥 カード
	9日	成人の日	お赤飯 カード
	11日	鏡開き	おしるこ カード
2月	未定	新年会	行事献立
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	お料理クラブ	
	3日	節分	行事献立 カード
	14日	バレンタイン	チョコレートケーキ カード
3月	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	お料理クラブ	
	3日	ひな祭り	行事献立 カード
	20日	春分の日	ぼたもち カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
未定	お料理クラブ		

実施日については、皆様の状況等により月毎に決定していきます。
 また、皆様の要望等により随時増やしていきます。

平成27年度 防災訓練・災害対策 事業計画
特別養護老人ホーム 星の郷
ショートステイ・デイサービスセンター 星の郷・いちばん星

○ 目的

利用者・入所者及び職員の安全確保の為に、地震、火災、風水害等の災害を物心両面にわたって予防し、人的・物的災害を軽減するために消防計画の整備を行い、次の通り対策及び防災訓練等を実施する。

○ 具体的対策・訓練

1 職員・利用者参加による防災訓練の実施

- ・ 通報訓練 年3回訓練
- ・ 消火訓練 年10回(消火器並びに消火栓を含めた訓練・点検)
- ・ 避難誘導訓練 年12回(事業所、各フロア毎に実施)
- ・ 総合訓練 年2回(内1回は夜間を想定する)
- ・ 非常連絡網における招集訓練の実施(全職員対象)
また、初動体制を確立し、災害を想定して対応が図れるよう、防災委員が中心となって推進する。

2 職員の防災知識並びに防災意識の高揚を図るため定期的に防災教育を実施。

3 非常災害対策として、地震、火災、風水害等の想定される非常災害に対する具体的計画(マニュアル)の定期的な見直しを行い、職員に周知する。

4 防火設備、消火設備等の定期点検の実施

5 緊急通報システム(安否確認システム)導入に向けた取り組みを進めていく。
(災害時の事業継続に向けた連絡ツール等)

6 富士宮市災害時の応援協定に従い、市と災害時応援協定締結者での情報伝達訓練を行い、災害対応のための連携強化を図る。

- 1) 社会福祉施設として、地域の要援護者の救済を目的とした体制作りの為、地域の組織形成の確立として以下の関係者と共に協力をしていく
 - ・ 富士宮市
 - ・ 防災関係者(消防団等)
 - ・ 民生児童委員
 - ・ 地域代表者及び役員等(区役員、老人会、婦人会等)

2) 地域住民の受け入れ範囲の検討

3) 地域における避難を必要とする要援護者の把握等

7 震災対策とし、非常防災用具並びに備蓄飲食料の見直しを行う。

また、物資の転倒、落下防止対策及びガラスの飛散防止対策を講じる。